



令和7年度からの大学入学共通テストについて

独立行政法人 大学入試センター
試験・研究統括補佐官（兼）試験企画部長

小野 賢志

大学入学共通テストの概要

大学入学志願者を対象に、
高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、
大学教育を受けるために必要な能力を把握するため、
利用する各大学が共同して実施

利用大学数

870大学



9割以上

の4年制大学が利用
(国立・公立・私立)



6教科30科目
出題教科・科目数

志願者数

512,581人



45.1%

の高校卒業見込み者が受験



679会場
(本試験)



22部会

約500名 1,200日/年
問題作成部会



約150名 述べ300日/年
科目等別の点検



受験上の配慮許可者数(R4)
3,685人

高大接続改革

学習指導要領の改訂

- ・育成することを目指す資質・能力の明確化
- ・そのための授業や学習評価の改善



高校教育で
育成する力



大学入試で
測る力



大学教育で
必要となる力



社会で生きていく
ための力

“三つの方針”の明確化による 教育の改善・充実

- 入学者選抜の方針(アドミッション・ポリシー)
- 教育の方針(カリキュラム・ポリシー)
- 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

高校段階の学習成果を評価し、 大学で求められる力を把握する入試の改善

- ・大学入学共通テストの導入
- ・各大学の個別選抜の改善

独立行政法人大学入試センター法

(平成十一年法律第百六十六号)

…大学に入学を志願する者に対し大学が共同して実施することとする試験に関する業務等を行うことにより、大学の入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校における教育の振興に資することを目的とする。(第3条)

大学に入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的として大学が共同して実施することとする試験に関し、問題の作成及び採点その他一括して処理することが適当な業務を行うこと。(第13条第1号)

1

大学入学共通テストの 問題作成・評価について

大学入学共通テストの問題作成

大学入学共通テスト
実施大綱

実施の趣旨、出題教科・科目の範囲

(大学関係団体、高校関係団体との協議の上、文部科学省が定める)

大学入学共通テスト
問題作成方針

全教科共通の作成の方針

(大学入学共通テスト企画委員会の審議で決定)

出題教科・科目の
問題作成の方針

各教科において問いたい力、
重視する学習の過程、資料の扱い方など
(教科・科目等別問題作成方針分科会)

教科・科目等別の
問題作成分科会における
問題作成

点検

問題点検第1部会、第2部会、
問題作成方針分科会(高校点検)

実施

評価・分析

不断の
改善

センター試験にはなかった部分

大学入学共通テスト(令和3年度～)

全教科共通の出題方針・各教科の問題作成方針の 基本的な考え方

- 「問いたい力」を明確にした問題作成 (センター試験における蓄積も生かす)
- 高校教育の成果として身につけた、大学教育の基礎となる
知識の理解の質や思考力、判断力、表現力等を問う問題作成
- 「どのように学ぶか」を踏まえた問題の場面設定※

※単に授業の場面を取り上げたり、会話文を取り入れることが目的ではなく、知識を実際の問題解決の場面で活用できるほど深く理解できているか、問題解決のために思考・判断・表現することができるかどうかをなど問う。

大学入学共通テスト 試験の出題に対する評価

「大学入学共通テスト問題評価・分析委員会」において、
・高校教員・指導主事、教育研究団体からの外部評価
・問題作成部会委員による自己点検・分析・評価
を出題科目ごと実施。

令和4年度大学入学共通テスト
問題評価・分析委員会報告書
(大学入試センターHPに掲載)



<評価項目>

- ①出題のねらい
- ②出題範囲
- ③題材
- ④問題の場面設定
- ⑤問題構成
- ⑥表現・用語
- ⑦難易度
- ⑧得点のちらばり

令和4年度試験 外部評価結果概要

- 外部評価では、対象科目(31科目)の総合評価において25科目が「4(適切)」, 6科目が「3(ある程度適切)」との評定であったことから、共通テストの試験問題として良質な試験問題であったとの結論を得られた。
- 全体としては、題材、場面設定、問題構成などにおいて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」を測る共通テストの問題として適切であったという評価を受けた。
- 各教科・科目の個々の設問へのコメントの中には、共通テストで問いたい資質・能力を測るために、さらなる改善・充実を期待する指摘もあった。

(例)

- 授業の場面を想定して出題されるなどの工夫が見られた。問いを表現したり、仮説を立てたり、検証したりと生徒自身の授業の活動に視点を置いて出題すると、よりよいものになるだろう。(「世界史B」)
- 作成方針に即した思考力・判断力・表現力等を求める設問は時間に比して多く、計算量の多い設問も散見された。そのため総合的にみると解答時間に余裕がなくなった受験者が多いことが推察される。(「数学I, 数学A」)
- 実験立案や考察, グラフ, 計算問題など多角的な問いが設定されている。単発の問いが減り、過不足や穴埋めなどの出題形式が多様で、分野融合の問題も工夫されていた。ただ、時間のかかる問題が多すぎたので、設問数の減少などで受験者へ配慮してほしい。(「生物」)

『世界史B』 R4共通テスト(本試験)問題より

上の資料から窺えるように、オーウェルは、ヒトラーやムッソリーニの政権と同様に、同じ時期の日本の政権をファシズム体制だとみなしていた。㉔世界史の教科書には、これと同様の見方をするものと、日本の戦時体制とファシズムとを区別する立場から書かれているものがある。どちらの見方にも、相応の根拠があると考えられる。

(略)

問 3 下線部㉔について議論する場合、異なる見方あ・いと、それぞれの根拠として最も適当な文W～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

異なる見方

- あ スペイン内戦の時期から第二次世界大戦期にかけての日本の政権は、ファシズム体制だったと言える。
- い スペイン内戦の時期から第二次世界大戦期にかけての日本の政権は、ファシズムとは区別される体制だったと言える。

それぞれの根拠

- W ソ連を脅威とみなし、共産主義運動に対抗する陣営に加わった。
- X 国民社会主義を標榜し、経済活動を統制した。
- Y 政党の指導者が、独裁者として国家権力を握ることがなかった。
- Z 軍事力による支配圏拡大を行わなかった。

① あ—W い—Y

② あ—X い—W

「文中下線部について議論する場合、異なる見方あ・いと、それぞれの根拠として適当な文について、正しい組合せを選択する問題。

概念化された知識を元に、歴史の解釈に対する根拠を考察する問題であり、やや難易度は高いが、思考を問う良問である。」

(問題評価・分析委員会
外部評価分科会(高校教員))

『生物基礎』 R4共通テスト(本試験)問題より

第3問 次の文章(A・B)を読み、後の問い(問1～5)に答えよ。(配点 15)

A 年降水量の多い日本列島では、主に(a) 気温によってバイオームが決まる。中部地方の内陸から東北地方を経て北海道南部にまで主に見られるバイオームは、ブナなどの落葉広葉樹が優占する夏緑樹林と、そこに生息する生物とから成立している。

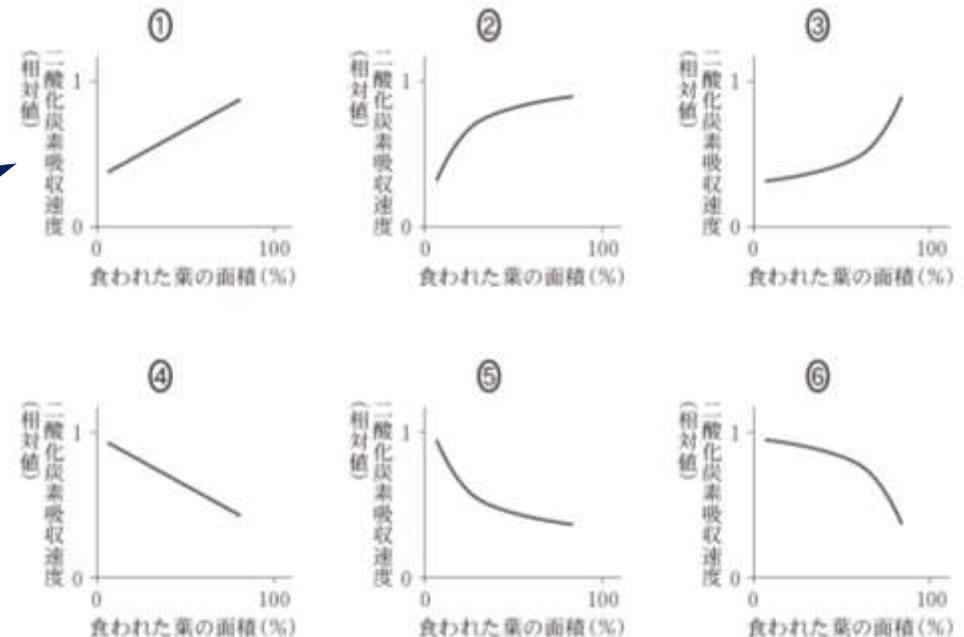
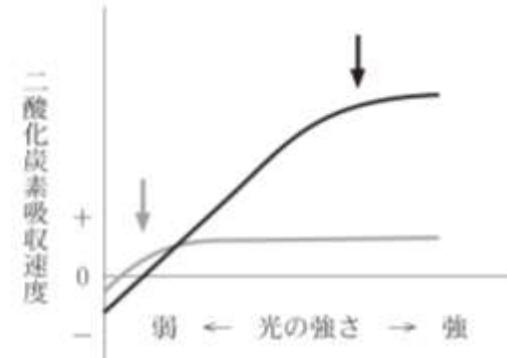
ブナの葉を食うガであるブナアオシャチホコ(以下、ブナアオ)の幼虫は、しばしば大発生して一帯の葉を食いつくすことがある。(b) この幼虫は、日当たりの良い林冠につくられる陽葉よりも、日当たりの悪い下層につくられる陰葉から食い始める。

(c) ブナアオが大発生すると、その幼虫を食う甲虫のクロカタビロオサムシが追いかけるように大発生する。同様に、ブナアオの蛹を栄養源とする菌類のサナギタケも大発生する。そのため、ブナアオの大発生は長続きしない。

「光の強さと二酸化炭素吸収速度の関係を表すグラフと、問題文中の食物連鎖の関係、ブナアオシャチホコの幼虫の食性といったそれぞれの情報を統合して考えさせる設問。学習指導要領に示された「生物学的に探究する能力」を問うものであった。」

(問題評価・分析委員会 外部評価分科会(高校教員))

問2 下線部b)に関連して、図2は陽葉と陰葉における、光の強さと二酸化炭素吸収速度との関係である。図中の下向きの矢印は、陽葉か陰葉のいずれかが日中に受ける平均的な光の強さを示している。大発生したブナアオが陽葉と陰葉を共につけるブナ個体の葉を食い進むと、二酸化炭素吸収速度はどのように変化すると予測されるか。ブナ1個体当たりの変化の傾向を示すグラフとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14



2

新学習指導要領と令和7年度入試からの 大学入学共通テストについて

新高等学校学習指導要領改訂 (H30告示)

(教科・科目共通の改善のポイント)

- 教科・科目の目標を、「何を教えるか」ではなく、「何ができるようになるか」という視点で整理
- 「何ができるようになるか」(育成することを目指す資質・能力)を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの観点で整理
- 目標とする資質・能力を育成するために重要となる学習の過程について、「主体的、対話的で深い学び」の視点として整理
- 特に、「深い学び」として、各教科ならではの「見方・考え方」を働かせる学習の過程を重視
- すべての学習の基盤となる、言語能力、情報活用能力等を教科横断的に育成することを重視
- 情報機器を教科の特性に応じて活用することを重視
- 学習評価を指導や学習の改善につなげるため、「目標に準拠した観点別評価」として実施(評価の観点＝育成することを目指す資質・能力の3つの観点)

新しい時代に必要となる**資質・能力**の育成と、**学習評価**の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか（なったか）

どのように 実現するか

各学校における
「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

生きていくために必要となる力を伸ばす
必修科目設定

「地理総合」、「歴史総合」、「公共」、「情報Ⅰ」、
「総合的な探究の時間」等）

進路等に応じた可能性を伸ばす（多様性）
選択科目設定

「理数」（理数探究基礎、理数探究）等

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）
の視点からの**学習過程の改善**
各教科の見方・考え方を働かせた、
習得・活用・探究の過程の重視

新教育課程に対応した大学入学共通テスト出題科目構成（予告）

グレー部分は、共通テストの出題範囲外

国語



『国語』

地理歴史



『地理総合、
地理探究』

『歴史総合、日本史探究』
『歴史総合、世界史探究』

公民



『公共、倫理』
『公共、政治・経済』

同じ名称の科目を含む
出題科目は選択不可
(ただし、『歴史総合、日
本史探究』と『歴史総合、
世界史探究』は選択可)

『地理総合、
歴史総合、
公共』
(3科目の中から
2科目選択)

数学

数学②
『数学Ⅱ、数学B、数学C』



数学①
『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』

理科

②『物理』『化学』『生物』『地学』



①『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』

最大2科目を受験

英語



『英語』
『ドイツ語』『フランス語』
『中国語』『韓国語』

情報



『情報Ⅰ』

令和7年度大学入学共通テスト 大学入試センターからの公表内容

11月9日公表

- 出題教科・科目の出題方法等の予告(配点など)
- 教科共通の問題作成方針に関する検討の方向性
- 教科・科目の問題作成方針に関する検討の方向性及び試作問題
- 『情報Ⅰ』『旧情報(仮)』の得点調整
(受験者数が1万人未満の場合にも得点調整の対象にすることについて)

11月16日公表

- 得点調整の実施条件・方法に関する
「得点調整検討部会」の検討状況と意見募集

令和7年度試験の主な変更点など

* 赤字が今回初めて公表する部分

- 従来の問題作成方針を引き続き重視しつつ、趣旨をより明確にし、新学習指導要領に対応。多様な受験者が十分に力を発揮できるよう問題の構成や分量等に配慮しながら、引き続き、**知識の質**や、**知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力等**を問う問題の工夫を重視する。
- **国語**は、言語活動を重視し、多様な資質・能力を問うため**大問を一つ追加**。
試験時間は90分(10分増)、分野別の配点は近代以降の文章110点、古典90点(古文45,漢文45)
- **地理歴史**、**公民**は、必修履修科目と、それを学んだ後に履修する選択科目を組み合わせ、6つの出題科目を出題。
- **数学②**は『**数学Ⅱ**、**数学B**、**数学C**』となり、試験時間が70分(10分増)
- **理科**は、一つの時間帯の中で、1～2科目を受験する。
- **英語**は「リーディング」「リスニング」形式を通して、**「聞く」「読む」「話す」「書く」を統合した言語活動を通して培う能力を評価**。
- **情報**が出題教科に追加(試験時間は60分、配点は100点)
『情報Ⅰ』と『旧情報(仮)』の間では、いずれかの**受験者数が1万人に満たない場合も、得点調整の対象とする**。
- 令和7年度試験は、旧教育課程履修者等(既卒者など)が選択できる、**「経過措置問題」を出題**。
(新教育課程履修者が経過措置問題を選択することは不可。)
地理歴史、公民のみ、経過措置問題を解答するか、通常の科目を解答するか、出願時に申請が必要。

令和7年度大学入学共通テスト 教科共通の問題作成方針 「検討の方向性」のポイント

- 従来の方針を重視しつつ、趣旨をより明確化し、新学習指導要領に対応する
 - ・ 知識の質、思考力、判断力、表現力等を重視するとともに、
教科横断的に育成する言語能力、情報活用能力等にも留意する。
 - ・ 知識・技能や思考力、判断力、表現力等を適切に評価するため、
各教科・科目の特質に応じた学習の過程を重視し、
問題の構成や場面設定の工夫を重視する。
 - ・ 出題の工夫を一層重視しつつ、多様な受験生が十分に力を発揮できるよう、
出題の構成や内容、分量、表現等に配慮する。
- 高校教育や大学教育が変わろうとしていることを踏まえ、共通テストも不断の改善を図る。
- 共通テストは、学習指導要領に基づく学習を重ねていれば対応できる問題の作成を目指すものであり、そのことの周知を含め、広く情報発信を行う。

3

令和7年度試験の出題科目について

(出題方法, 問題作成方針に関する検討の方向性, 試作問題等)

国語

- 必履修科目「現代の国語」「言語文化」で育成する資質・能力を、試験問題全体を通して評価する。
 - ※1 話合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習の充実を含め、実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する科目
 - ※2 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める科目
- 様々な資料から読み取ったことを基にレポートを書くといった、言語活動を重視し、多様な資質・能力を問うことができるよう、大問を一つ追加。
- 配点は近代以降の文章が3問110点，古典が2問90点（古文・漢文各45点）
- 各大問では，試験時間（90分）との関係に留意しつつ，それぞれの題材の意義や特質を一層生かすよう工夫する。
- 試作問題では，新たな大問の例を2例紹介。

『国語』試作問題の構成

令和4年度共通テスト

試作問題

設問	分野（配点）
第1問	近代以降の文章(50)
第2問	近代以降の文章(50)
第3問	古文(50)
第4問	漢文(50)

100点



設問	分野（配点）
第1問	近代以降の文章(45)
第2問	近代以降の文章(45)
第3問	近代以降の文章(20)
第4問	古文(45)
第5問	漢文(45)

110点

多様な力を問うため
言語活動の過程を
より重視した問題を
追加

試験時間 80分

試験時間 90分

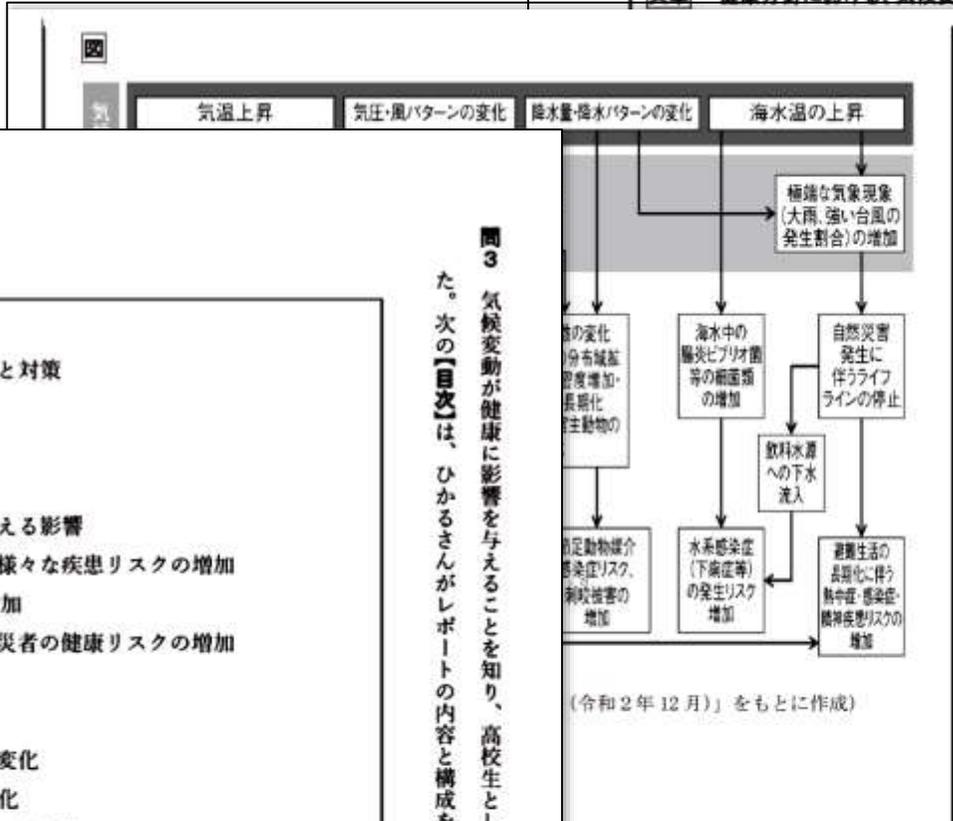
※試作問題の構成であり、毎年度、同じ形で出題されるとは限らない

部である。これらを読んで、後の問い(問1～3)に答えよ。(配点 20)

【資料Ⅰ】

文章 健康分野における、気候変動の影響について

注2
加させ、熱中症リスクや暑熱に
々な疾患リスクを増加させる。
注3
心に、暑熱による超過死亡が増
てばらつきはあるものの、熱中
症死者数は増加傾向にある。
分布域・個体群密度・活動時期
での感染連鎖が発生することが
い北海道南部でもヒトスジシマ
スを媒介する外来性の蚊の鹿児
指摘されている。
インフルエンザのような感染症
やロタウイルス感染症、下痢症
ザや手足口病などの感染症類の
されている。
増加に伴い④自然災害が発生す
神疾患リスク等が増加する可能
い光化学オキシダント・オゾン等
るが、それ以降は減少すること



(令和2年12月)をもとに作成)

【図3】

気候変動が健康に影響を与えることを知り、高校生と... た。次の【目次】は、ひかるさんがレポートの内容と構成を考えるために作成したものである。これを調

【資料

【目次】

テーマ：気候変動が健康に与える影響と対策

はじめに：テーマ設定の理由

第1章 気候変動が私たちの健康に与える影響

- a 暑熱による死亡リスクや様々な疾患リスクの増加
- b 感染症の発生リスクの増加
- c 自然災害の発生による被災者の健康リスクの増加

第2章 データによる気候変動の実態

- a 日本の年平均気温の経年変化
- b 日本の年降水量の経年変化
- c 台風の発生数及び日本への接近数

第3章 気候変動に対して健康のために取り組むべきこと

- a 生活や行動様式を変えること
- b 防災に対して投資すること
- c X
- d コベネフィットを追求すること

おわりに：調査をふりかえって

参考文献

「気候変動の影響」について調べてレポートを書くために、テキストを図表と関連付けながら的確に読み取る力や、レポートの作成に向けてテキストを適切に解釈し、目次の内容や構成について分析したり検討したりする力等を問う。

ヒロミさんは、日本語の独特な言葉遣いについて調べ、「言葉遣いへの自覚」という題で自分の考えを【レポート】にまとめた。これらを読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。(配点 20)

【レポート】

男女間の言葉遣いの違いは、どこにあるのだろうか。【資料Ⅰ】によると、男女の言葉遣いは同じ七割以上いる。実際、「このバスに乗ればいいのよね？」は女の子の話し方として、「このカレーライとして認識されている。これは、性差によって言葉遣いがはっきり分かれているという、日本語の特性。一方、Xにも着目すると、男女の言葉遣いの違いを認識しているものの、女性らしいとされず、逆に男性らしいとされる言葉遣いをしている女性も少なからず存在することが分かる。ここで、【資料Ⅱ】【資料Ⅲ】の「役割語」を参照したい。これらの資料によれば、言葉遣いの違いとして、Yということである。

【資料Ⅲ】 役割語の習得時期

多くの日本語話者は、「あら、すてきだわ」「おい、おれは行くぜ」のような言い方が共有している。しかし、現実の日常生活の中でこのようないかにも女性的、いかにも甲斐性になっていく。

日常的な音声言語に、語彙・語法的な特徴と「男ことば」と「女ことば」を正しく認識する。この点について考えるために、私が代表者を紹介しよう。図1として示すのは、そのこの図を被実験者の幼児に示し、さらに音

- a おれは、この町が大好きだぜ。
- b あたしは、この町が大好きなのよ。
- c わしは、この町が大好きなんじゃ。
- d ぼくは、この町が大好きさ。
- e わたくしは、この町が大好きですわ。

その結果、三歳児では性差を含む役割語のことが分かった(音声的な刺激を用いたので、はこれからの検討課題である)。

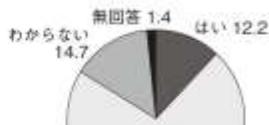
幼児が、これらの人物像すべてに現実に出た作品等には、役割語の例があふれている。

【資料Ⅰ】 性別による言葉遣いの違い

調査期間	2008/11/23～2008/12/08
調査対象	小学生～高校生 10,930人(男子5,787人、女子5,107人、無回答36人)
調査方法	任意で回答
単位	全て%

質問1

男の子(人)が使うことばと、女の子(人)が使うことばは、同じだと思いますか？



日本語の独特な言遣いについてレポートを書く場面を設定。それぞれの資料をレポートに引用するために、複数の文章やグラフの内容や要旨を適切に解釈する力や、よりよいレポートにするために、レポートの内容を捉え直したり、根拠の示し方について考察したりする力等を問う。

問4 ヒロミさんは、【レポート】の主張をより理解してもらうためには論拠が不十分であることに気づき、補足しようと考えた。内容として適当なものを、次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は

4 . 5

- ① 「今日は学校に行くの」という表現を例にして、日本語における役割語では語彙や語法より音声的な要素が重要であるため、文末のイントネーションによって男女どちらの言葉遣いにもなることを補足する。
- ② 英語の「I」に対応する日本語が「わたし」、「わたくし」、「おれ」、「ぼく」など多様に存在することを例示し、一人称代名詞の使い分けだけでも具体的な人物像を想起させることができることを補足する。
- ③ マンガやアニメなどに登場する武士や忍者が用いられる「うでござる」という文末表現が江戸時代にはすでに使われていたことを指摘し、役割語の多くが江戸時代の言葉を反映していることを補足する。

国語の必修科目「現代の国語」と「言語文化」について

学習指導要領の科目	科目設置の趣旨	「読むこと」で扱う文章の種類	「読むこと」の配当時間	「話すこと、聞くこと」「書くこと」を含めた授業時数
「現代の国語」	話合いや論述などの『話すこと・聞くこと』、『書くこと』の領域の学習の充実を含め、実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力の育成	現代の社会生活に必要とされる 論理的な文章及び 実用的な文章	10-20h	70h
「言語文化」	上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める	文学的な文章(作品) ， 我が国の伝統と文化に関する論理的な文章 ※1 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 古文、漢文	20h ----- 40 ~45h ※2	70h 60~ 65h

※1 我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論，随筆など

※2 古典を読んでいる時間だけでなく、古典を読んで考えたことについて書いたり話し合ったり、古典に関するテーマを立ててまとめたりする時間も含めている

文部科学省「大学入試のあり方に関する検討会議」提言(R3.7)より
(記述式問題及び国語関係)

参考

- (略) マーク式問題の中で、知識の理解の質を問う問題や思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視した出題を一層工夫していくことが適切であり、第1回大学入学共通テストに対する評価も踏まえ、不断の改善に努めていくことが期待される。

(第1回試験についての委員の指摘から)

- ✓ 国語については、複数の題材による出題、言語活動の過程を設定に取り入れた出題など、問題作成の方針に示された趣旨を生かそうとする意図が見える。また、読み取った内容を活用して、新たな考えを生み出す力を測ろうとする出題を目指していることも見て取れる。ただし、いわゆる「実用的な文章」の扱いを含めて、質の高い問題作成を続けていくことの難しさを同時に感じる。大問の数や試験時間を変えないまま新しい内容を加えると、従来問うていた内容が十分に問えるのかという疑問が残る。大問の数や試験時間の変更も選択肢の一つとして検討されるべきではないか。

地理歴史， 公民

• 6つの出題科目で構成

→(参考1)出題科目構成

(a) 必修科目を組み合わせた出題科目

『地理総合， 歴史総合， 公共』

高等学校の必修科目「地理総合」「歴史総合」「公共」の3つのうちから2つを選んで解答。

各50点， 2つ合わせて100点

(b) 必修科目と選択科目を組み合わせた出題科目

『地理総合， 地理探究』， 『歴史総合， 日本史探究』，

『歴史総合， 世界史探究』， 『公共， 倫理』， 『公共， 政治・経済』

高等学校の必修科目「地理総合」「歴史総合」「公共」と、それらを履修した後に学習する
選択科目である「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」「倫理」「政治・経済」を組み合わせた
問題を出題 各100点

- 最大2科目を受験

＜2科目受験時に、選択できない組合せ＞

- ・(b)から2科目を受ける場合:『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せは不可
- ・(b)から1科目と(a)を受ける場合: (a)の中で選択するものと同じ名称を含む (b) 科目は選択不可

→(参考2)組合せ一覧表

- 受験する科目の数は, 出願時に申請

→(参考3)科目選択の方法

(参考1) 地理歴史, 公民の出題科目構成の新旧比較

()の数字は配点

これまで

世界史A(100)	}
世界史B(100)	
日本史A(100)	}
日本史B(100)	
地理A(100)	}
地理B(100)	
現代社会(100)	
倫理(100)	}
政治・経済(100)	
倫理 政治・経済(100)	

左記の中から
最大2科目*
を受験

* 同じ名称を含む科目
(赤線で結んだ科目)
を選択することは不可



令和7年度共通テスト

『地理総合, 地理探究』 (100)
『歴史総合, 日本史探究』 (100)
『歴史総合, 世界史探究』 (100)
『公共, 倫理』 (100)
『公共, 政治・経済』 (100)
『地理総合, 歴史総合, 公共』 * 3つのうち2つを選択解答 (各50点、2つ解答して100点)

(b) 必履修科目と選択科目を
合わせた出題科目

左記の中から
最大2科目*を受験

* 2科目選択できない組合せ

- (b) から2科目を受ける場合
『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』
の組合せは不可
- (b) から1科目と(a)を受ける場合,
(a)の中で選択したものと同一名称
を含む(b)科目は選択不可

(a) 必履修科目を
組み合わせた出題科目

(参考2) 選択可能・不可能な組合せ一覧表 (地理歴史, 公民で2科目受験する場合)

			解答科目②							
			(b) 必履修科目と選択科目を 組み合わせた科目				(a) 必履修科目を 組み合わせた出題科目 『地理総合, 歴史総合, 公共』 (3つのうち2つを解答)			
			『地理総合, 地理探究』	『歴史総合, 日本史探究』	『歴史総合, 世界史探究』	『公共, 倫理』	『公共, 政治・経済』	「地理総合」 と 「歴史総合」	「地理総合」 と 「公共」	「歴史総合」 と 「公共」
解答科目①	(b) 必履修科目と 選択科目を 組み合わせた 出題科目	『地理総合, 地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
		『歴史総合, 日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
		『歴史総合, 世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
		『公共, 倫理』	○	○	○		×	○	×	×
		『公共, 政治・経済』	○	○	○	×		○	×	×
	(a) 必履修科目を組 み合わせた 出題科目 『地理総合, 歴史総合, 公共』 (3つのうち 2つを解答)	「地理総合」 と 「歴史総合」	×	×	×	○	○			
		「地理総合」 と 「公共」	×	○	○	×	×			
		「歴史総合」 と 「公共」	○	×	×	×	×			

○は選択可能な組合せ、×は選択不可の組合せ

(参考2) 選択可能・不可能な組合せ一覧表 (地理歴史、公民で2科目受験する場合)

		解答科目②							
		(b) 必履修科目と選択科目を組み合わせた科目					(a) 必履修科目を組み合わせた出題科目 『地理総合、歴史総合、公共』 (3つのうち2つを解答)		
		『地理総合 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合 世界史探究』	『公共、倫理』	『公共、 政治・経済』	『地理総合』 と 『歴史総合』	『地理総合』 と 『公共』	『歴史総合』 と 『公共』
解答科目 ①	(b) 必履修科目と 選択科目を 組み合わせた 出題科目	『地理総合、 地理探究』	○	○	○	○	×	×	○
		『歴史総合、 日本史探究』	○	○	○	○	×	○	×
		『地理総合、 地理探究』	○	○	○	○	×	○	×
	(a) 必履修科目を組 み合わせた 出題科目 『地理総合、歴史 総合、公共』 (3つのうち2つを 解答)	『地理総合、 地理探究』	○	○	○	○	×	×	○
		『歴史総合、 日本史探究』	○	○	○	○	×	×	○
		『地理総合、 地理探究』	○	○	○	○	×	×	○

(例)
一つ目の科目として
『歴史総合、日本史探究』
を選ぶ場合

(参考3) 地理歴史，公民の解答科目の選択の方法

出願時

1 受験科目の数を申請
(最大2科目)

旧教育課程履修者は、経過措置または新教育課程の問題のどちらを受験するかも併せて申請

当日 (試験時間中)

2

解答する科目を選択

1科目受験

- ・ (b) の5科目から1科目
又は
- ・ (a) (『地理総合，歴史総合，公共』) の中から
いずれか2つの内容を解答

2科目受験

- ・ (b) の5科目から2科目
※『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せはできない
又は
- ・ (b) の5科目から1科目と、
(a) (『地理総合，歴史総合，公共』) の中から
いずれか2つの内容を解答
※ (b) と (a) で同じ名称を含む科目の組合せはできない

(b) 必履修科目と選択科目を組み合わせた科目
『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，
『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』

3

選択した科目を解答用紙にマーク

選択可能な
(b)と(a)の
組合せ

(b)

『地理総合，地理探究』

『歴史総合，日本史探究』

『歴史総合，世界史探究』

『公共，倫理』

『公共，政治・経済』

「歴史総合」と「公共」

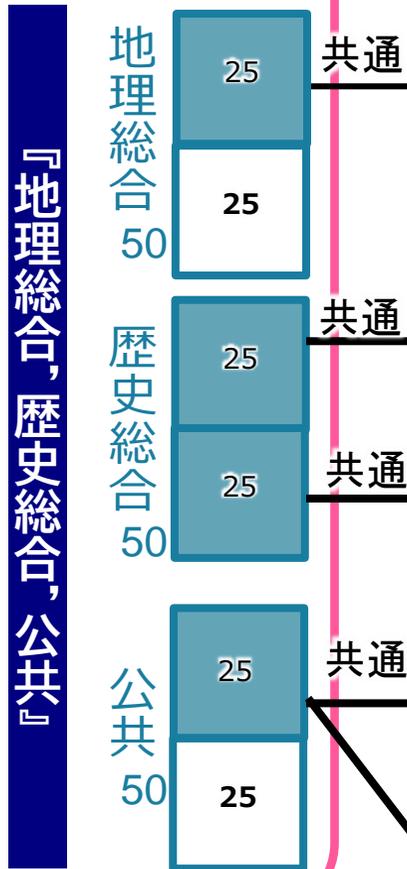
「地理総合」と「公共」

「地理総合」と「歴史総合」

(a)

地理歴史，公民 試作問題の構成のイメージ

(a) 必履修科目を
組み合わせた出題科目



(b) 必履修科目と選択科目を
合わせた出題科目



※数字は配点を示す。

※「共通」で結んだ部分は、
共通の問題となっている。

※今回の試作問題と同じ大問が
共通問題になるとは限らない。

先生：そのとおりです。

さて今回は、20世紀の戦争に目を向けてみましょう。そこでは、敵対する他者が戯画化されて、表現されることがよくあります。次の絵を見てください。これは第一次世界大戦が始まった際に、フランスのある新聞に掲載された絵です。解説には、フランスを含む5つの国の「文明戦士がドイツとオーストリアというモン



スターに立ち向かう」と書かれています。5つの国には、フランスのほかに **ア** などが当てはまると考えられますね。どちらも、三国協商を構成した国です。

ゆうこ：交戦相手を怪物として描いてその恐ろしさを強調することで、敵に対する国民の憎悪をかきたてて団結させようとしているのですね。

まさき：このように敵対意識を表現することや、他の国と比べて自国を良いものだと考えることで自国への愛着を促すこと、これらもナショナリズムと言えるのでしょうか。

先生：そのとおりです。ほかにも、植民地支配からの独立を目指す動きもナショナリズムに基づいていると言えます。

ゆうこ：ナショナリズムには多様な現れ方があるのですね。

問5 下線部◎に関して、ナショナリズムの現れ方として考えられることあ・いと、その事例として最も適当な歴史的出来事X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **6**

ナショナリズムの現れ方として考えられること

- あ 国内で支配的位置にある多数派の民族が、少数派の民族を同化しようとする
- い 外国による植民地支配から脱して、自治や独立を勝ち取ろうとすること。

歴史的出来事

- X ロシアとの戦争が迫る情勢の中で、幸徳秋水が非戦論を唱えた。
- Y 明治期の日本政府が、北海道旧土人保護法を制定した。
- Z ガンディーの指導で、非暴力・不服従運動が行われた。

- ① あ－X い－Y
- ② あ－X い－Z
- ③ あ－Y い－X
- ④ あ－Y い－Z
- ⑤ あ－Z い－X

会話文から類推されるナショナリズムの概念を基にして、日本や外国における具体的な歴史的な事象をナショナリズムの現れとして評価できるかを問う。

(『歴史総合、世界史探究』第1問、
『地理総合、歴史総合、公共』の「歴史総合」第2問(共通問題))

問2 生徒Xたちは、日本とヨーロッパのOECD加盟国について、次の図1・図2を示しながら「日本は出産・子育て支援策として、保育サービスなどの『現物給付』の充実を図る必要がある。」という提案を行うことにし、事前に他のグループに説明したところ、後のア～エのような意見が他の生徒からあった。

ア～エのうち図1・図2を正しく読み取った上での意見の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

図1 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率

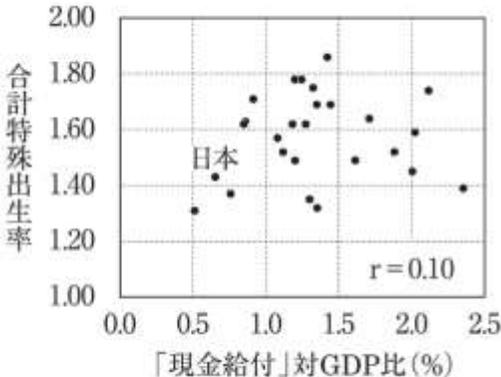
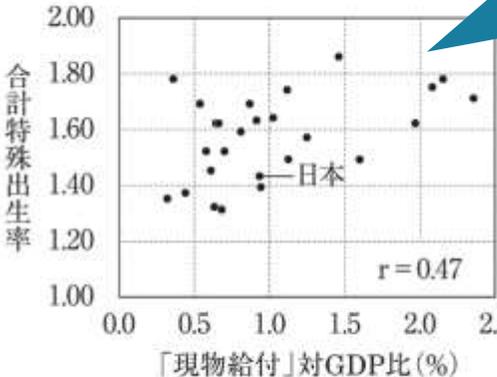


図2 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率



人口減少が社会に与える影響と対策について、考察、構想する問題。

日本と諸外国の「現金給付」「現物給付」の対GDP比と「合計特殊出生率」についての散布図を読み取り、そこからどのようなことを主張することができるのか考察する。

(『地理総合, 歴史総合, 公共』の「公共」第4問, 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』の第2問(共通問題))

(注) 「現金給付」対GDP比及び「現物給付」及び「現物給付」の支出額
(出所) 図1・図2ともOECE.Stat (

- ア 日本よりも合計特殊出生率が低いすべての国は、「現金給付」対GDP比が日本より低いため、「現金給付」より「現物給付」の充実に重点を置く提案に賛同する。
- イ 「現金給付」対GDP比と合計特殊出生率には強い相関があるため、「現物給付」より「現金給付」の充実に重点を置くべきである。
- ウ 「現物給付」対GDP比が日本より低くても合計特殊出生率が1.60を超える国々があるため、「現物給付」の充実を提案する前に諸外国の状況を調査してはどうか。
- エ 「現物給付」対GDP比と合計特殊出生率との因果関係は示されていないため、「現物給付」の充実を提案するためには別の資料も準備した方がよい。

第6問 高校生のジュンさんたちは、日本の国土像を考えるために、自分たちが地方中核都市のX市を事例に、持続可能なまちづくりについて探究すること。この学習に関する次の問い(問1~7)に答えよ。(配点 24)

問1 ジュンさんたちは、X市の中でも地区によって特徴が異なることに気付き、次の図1中の地区a~cにおけるいくつかの指標を調べ、後の表1を作成した。表1中のA~ウは、地区a~cのいずれかである。a~cとA~ウとの組み合わせを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 **24**



- 地区a: 軽工業の工場や大型の量販店に隣接した低層のアパートマンションが立地
- 地区b: 2005年にX市と合併した地域で、庭のある敷地面積の広い家が散在
- 地区c: 最近になって造成された住宅地で、主に戸建て住宅が立ち並ぶベッドタウン

都市が抱える多様な課題と、都市問題の解決に向けた知識を関連付け、持続可能なまちづくりの取組に向けて構想できるかを問う。
 (『地理総合, 地理探究』第6問)

問7 ジュンさんたちは、最後に、持続可能なまちづくりについて話し合った。次の会話文中の下線部マ~ムと、それらを解決するための取組みS~Uとの組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 **30**

- ジュン 「大都市は、公共交通機関も充実して便利だし、お店も多くて買い物もしやすいね。そんなまちづくりをすれば暮らしやすくなると思うよ」
- ヒカリ 「持続可能なまちづくりには、利便性の高さだけではなく過密の問題の解決も重要だと思う。マ大都市は便利だけど家賃がとても高いし、人が多くて通勤ラッシュも激しいね」
- ジュン 「そう考えると、大都市よりも地方都市の方が住みやすいのかな」
- アズサ 「X市もそうだったように、地方都市は、車社会で交通渋滞が発生している一方、車が運転できない人の中には買い物に困る人もいたよ。ミ車がなくても暮らしやすいまちづくりを目指すべきだと思うよ」
- ユウキ 「X市で空き家のことについて調べたけど、空き家を放置していると老朽化して危険だから、持続可能なまちにはならないと思う。なんとかしてム空き家を活用してもらう方法を考えるべきだと思うよ」
- ジュン 「国内の他地域の取組みや海外の取組みなども参考に、持続可能なまちづくりについて引き続き考えてみよう」

解決するための取組み

- S 住宅や商店、病院などの生活関連施設を一定の範囲内に再配置する。
- T 大企業の本社や国の行政機関の地方都市への移転を促す。
- U 地方移住を希望する人に受け入れ側が経済的な支援を行う。

	①	②	③	④	⑤	⑥
マ	S	S	T	T	U	U
ミ	T	U	S	U	S	T
ム	U	T	U	S	T	S

問4 第二次世界大戦直後の写真であるパネル2と、解説文2についてのレイさんの疑問あ・いを検証したい。あ・いと、それぞれについて検証するために最も適切と考えられる方法W～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 33

パネル2



(National Archives photo no. 111-SC-215790)

解説文2

α市内を撮影した写真。背景には戦争で焼けか
領軍の憲兵。丸太を運んでいる様子もうかがわ

疑問

- あ 向かって右端の人は日本の警察官で、占領軍の憲兵と協力して交通整理をしている。二人が同時にこれに従事しているのはなぜだろうか。
- い 向かって左端の人は運搬に従事している。どうしてこのような手段で、なぜ丸太を運んでいるのだろうか。

最も適切と考えられる方法

- W マッカーサーを中心として実施された統治のあり方を、α市の実態に即して具体的に調べてみる。
- X 日本の防衛に寄与するとされた条約に基づき、日米行政協定の実施のあり方を、α市の実態に即して具体的に調べてみる。
- Y 当時、道路の舗装がどの程度行われていたか、α市とその周辺で公職追放がどの程度行われたかを調べてみる。
- Z 当時、トラックなどの車両がどの程度使用されていたか、α市とその周辺の空襲による被害はどの程度だったかを調べてみる。

- ① あ－W い－Y ② あ－W い－Z
- ③ あ－X い－Y ④ あ－X い－Z

ある市の博物館を訪問してその展示資料を基に、日本近現代史について考察する過程を設定。写真を見て生じた疑問を検証するための方法について考察する問題。
(『歴史総合, 日本史探究』第6問)

試作問題『歴史総合, 世界史探究』

中間A～Cで扱う3つのレポートに共通した主題を類推した上で、その主題をさらに深めるため、どのような事例を考察することが適切かを考察する。

(『歴史総合, 世界史探究』第5問)

A 牧さんの班は、中世ヨーロッパで起こった、ある農民反乱に関する二つの年記を基に、主題を踏まえて考察を行った。次の文章は、その考察をまとめたレポートである。

レポート

○ 一つ目の年代記：(農民反乱の指導者の演説)「農民も貴族も存在せず、ての人々が一つになるまでは、この国で世の中がうまくいくことはない。領主と呼ばれる彼ら貴族は、いかなる点を根拠に、我々の同類ではなく、大なる支配者であるということになっているのか。アダムが耕し、イヴが紡ぐ時、誰が領主であったか。彼らが恵まれた状態を維持できているのは、我々

レポート

カルティニ(1879～1904年)は、ジャワ島中部で貴族の家庭に生まれ育った女性である。現地のヨーロッパ人小学校で学んだ後に、書籍や雑誌を通じて思想を深めていった。彼女は、ジャワや宗主国で発行された『エ』語雑誌への記事執筆や文通な

【探究における課題】
当時のアメリカ合衆国において、『オ』で行われた戦争に賛成した人々の意見は、政治にどのような影響を与えたのか

表 『オ』への米軍派遣に対する支持率の推移

世論調査	1965年	1966年	1967年	1968年	1969年
時期	8月	9月	10月	8月	9月
賛成	61	48	44	35	32
反対	24	35	46	53	58

(Gallup, November 17, 2000の記事より作成)

グラフ 『オ』での米軍の年間死傷者数

問7 三つのレポートの内容を参考に、第5問冒頭の空欄『ア』に入る主題として適当なものあ・いと、その主題をさらに追究するための世界史上の出来事として最も適当なものX～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 33

『ア』に入る主題

- あ 世界史上において、反乱や動乱、運動などに関わった人々は、どのような社会を望んだのだろうか
- い 世界史上において、君主や統治者は、どのような意図で、様々な改革を行ったのだろうか

主題をさらに追究するための世界史上の出来事

- X フランスとオーストリアが、従来の外交政策を転換した外交革命
- Y 秦の始皇帝が行った、度量衡の統一
- Z 「独立万歳」を叫ぶ民衆のデモが、朝鮮全土に広がった運動

① あ－X

② あ－Y

③ あ－Z

試作問題『公共、倫理』

場面2 生徒G、生徒H、生徒Iは、発表の相談のため再び集まり、次の会話をしている。

H：調べたら、動物も遊ぶのが大好きだったり、仲間がいないとふさぎこんだり、そういうところは人間とちっとも変わらないんだって。

G：でも、人間の場合は、①成長していくなかで、他の人との関係を築くことが大切だし、一人一人の多様な幸せだけでなく、社会全体の幸せもめざしているから、人間はやっぱり人間に特有の面もあるんだよね。そう考えると、人間の幸福と動物の幸福は違うんじゃないかな。

H：では、アニマルウェルフェアに配慮して育てられた家畜は幸せか、ということについて意見をまとめようか。Iさんはどう思う？

I：

G：どうしてそう思ったの？

I：

「動物の幸福とは何か」という問題についての様々な立場を理解した上で、自分がどの立場に立つのか、その主張を行う上でどのような根拠の提示が必要かについて考える問題。(『公共、倫理』第5問)

問5 場面2の会話文中の空欄 と空欄 に当てはまる発言を、生徒Iになったつもりで考え、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) まず、 に当てはめたい発言を、次の①～③のうちから一つ選び、のいずれかをマークせよ。なお、(1)で①～③のいずれを選んでも、(2)の問については、それぞれに対応する適切な選択肢がある。

- ① 配慮が行われたとしても、家畜は幸せではないと思うな。
- ② 配慮が行われているなら、家畜は幸せだと思うな。
- ③ 配慮が行われなくても、家畜は幸せだと思うな。

(2) 次に、 に当てはまる、(1)で選んだ主張の内容に対する論拠を述べた発言として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ① 家畜にも人間と同じく幸福を追求する権利があって、アニマルウェルフェアに配慮したとしても、家畜はその幸福を追求する権利が不当に奪われた状態にあるからだよ。
- ② 自分が幸福かどうかを決めるのは他の誰でもない自分自身で、家畜自身が幸福だと思っているのであれば他人が勝手に幸福かどうか判断するのはおかしいと思うからだよ。
- ③ 行動の自由や選択の自由というのは幸福というものの一番中心となることで、アニマルウェルフェアに配慮したとしても家畜は行動の自由や

問6 これまでの学習の成果を踏まえて、生徒Zは、生徒X、生徒Yとともに、日本での移民・難民の期限を定めない受入れについて授業で討論した。この討論は異なる視点から3人が意見を出し合い、それぞれの意見を組み合わせる一つの政策的な含意をもつ提言を導くことがねらいであった。討論を通じて、まとめられたXたちによる次のア～ウの提言を読み、後の(1)、(2)の問いに答えよ。

ア 日本への移民・難民の受入れを考える前に、現状の根本的な問題解決として、そもそも日本は移民・難民の発生する地域の安定や開発に貢献すべきであるだろうし、そうした支援を行う国際機関への資金援助も今以上に積極的に行うべきだ。

イ 経済の活力が失われる日本の将来を考慮するならば、移民・難民の受入れとは考えなければならない選択肢の一つだけれども、移住してくる人たちに日本の社会や歴史、文化を深く理解してもらう教育制度に加えて、在留資格や国籍取得の要件を厳格にすべきだ。

ウ 多様な人材を日本に受け入れることで、雇用する会社はそれらの人材を事業や取引に活かせるだろうから、日本は移住者の雇用をどのように促進できて、その人たちといかに接点を作れるか、受入れ後の制度について既に移住している人たちと一緒に考えるべきだ。

(1) まず3人の生徒が導いたア～ウの提言のうちから任意の一つを選び、アを選択する場合には①、イを選択する場合には②、ウを選択する場合には③のいずれかをマークせよ。なお、(1)で①～③のいずれを選んでも、(2)の問いについては、それぞれに対応する適切な選択肢がある。 33

(2) (1)で選択した提言は、討論を踏まえ意見をまとめていく中で、2人の生徒の意見を調整して組み合わせたものである。どの2人の意見を組み合わせた提言だと考えられるか。次のa～cの意見のうちから適当なものを二つ選び、その組合せとして最も適当なものを、後の①～③のうちから一つ選べ。 34

a 【生徒Xの意見】

今の日本は移民なしに少子高齢化社会を支えられないだろうし、移民労働者によって日本経済も活性化すると思うな。難民についても、欧米諸国との受入れの国際比較に関する資料6にあったように、日本は他の国と比べて受入れ数が少ないんだし、積極的に受け入れることでもっと国際社会に貢献しても良いと思う。日本国憲法にもあるように、人権はすべての人に保障されているもので、誰かが困っているんだったら答えは受入れ以外ないと思う。

b 【生徒Yの意見】

移住してくる人たちが日本で働き口を見つけ、家族を呼び寄せて、ある地域に移民が急に増えると、生活習慣や文化の違いでその地域の住民と摩擦が起こりそうだな。資料4のEU離脱支持理由にもあったけど、移民を手放しで受け入れた後では遅くて、受入れ前に対策を講じるのが一番大切だと思う。難民も多く発生しているアフガニスタンやシリアは言葉や宗教の面で日本と違うだろうから、暮らしにくいと思うよ。

c 【生徒Zの意見】

資料2で人口減少が顕著だった東ヨーロッパの国をみて思ったんだけど、移民・難民として出ていかれたら、その国の将来を担う人材も減りそう。それに他国の就労先で低賃金・重労働の仕事を押し付けられるのも心配だ。私たちが互いの意見を尊重するのと同様に、異なる言語や宗教の人たちの考

移民・難民の受け入れに関する3つの提言を読み、それらがどのような異なる意見を調整して導かれたものであるかを問う。

数 学

- 数学①②ともに試験時間が70分となる。
 - 試作問題では、新たに出題範囲となる内容の問題例と、それを含めた場合の全体の問題構成のイメージを紹介。
- ※ 試作問題では、新規の内容を含む部分以外は、過去の共通テストで出題した問題を使用。
(R3年度本試験(1月17日実施)の問題を基にしつつ、配点に応じて、問題の分量を調整している。)

数学①『数学I, 数学A』試作問題の構成

令和4年度共通テスト

試作問題

設問	解答方法
第1問	必答
第2問	
第3問	いずれか2問を 選択し解答
第4問	
第5問	



設問	解答方法
第1問	必答
第2問	
第3問	
第4問	

試験時間 70分

試験時間 70分

数学②『数学Ⅱ，数学B，数学C』試作問題の構成

令和4年度共通テスト

設問	解答方法
第1問	必答
第2問	
第3問	いずれか2問を 選択し解答 「数列」 「ベクトル」 「確率分布と統計的な推測」
第4問	
第5問	

試験時間 60分

試作問題

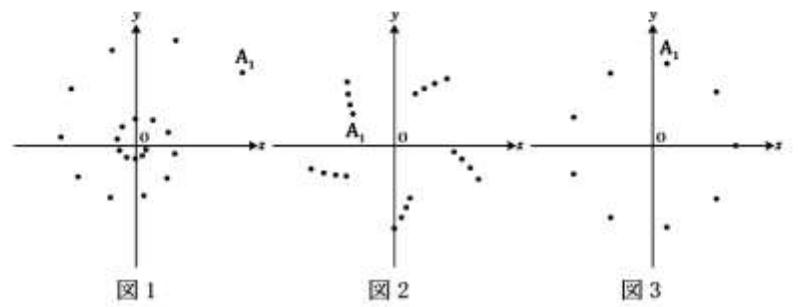
設問	解答方法
第1問	必答
第2問	
第3問	
第4問	いずれか 3問 を 選択し解答 「数列」(数学B) 「統計的な推測」(〃) 「ベクトル」(数学C) 「平面上の曲線と複素数平面」(〃)
第5問	
第6問	
第7問	

試験時間 **70分**

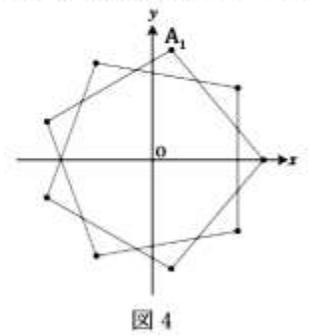
コンピュータソフトを用いて複素数平面上にとった複数の点を基に描かれる図形を扱う問題。事象を複素数を用いて数学的に表現したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。
 (『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』第7問)

[2] 太郎さんと花子さんは、複素数 w を一つ決めて、 w, w^2, w^3, \dots によって複素数平面上に表されるそれぞれの点 A_1, A_2, A_3, \dots を表示させたときの様子をコンピュータソフトを用いて観察している。ただし、点 w は実軸より上にあるとする。つまり、 w の偏角を $\arg w$ とするとき、 $w \neq 0$ かつ $0 < \arg w < \pi$ を満たすとする。

図1, 図2, 図3は、 w の値を変えて点 $A_1, A_2, A_3, \dots, A_{20}$ を表示させたものである。ただし、観察しやすくするために、図1, 図2, 図3の間では、表示範囲を変えている。



太郎: w の値によって、 A_1 から A_{20} までの点の様子もずいぶんいろいろなパターンがあるね。あれ、図3は点が20個ないよ。
 花子: ためしに A_{30} まで表示させても図3は変化しないね。同じところを何度も通っていくんだと思う。
 太郎: 図3に対して、 A_1, A_2, A_3, \dots と線分で結んで点をたどってみると図4のようになったよ。なるほど、 A_1 に戻ってきているね。



(数学Ⅱ, 数学B, 数学C第7問は次ページに続く。)

図4をもとに、太郎さんは、 A_1, A_2, A_3, \dots と点をとっていった再び A_1 に戻る場合に、点を順に線分で結んでできる図形について一般に考えることにした。すなわち、 A_1 と A_n が重なるような n があるとき、線分 $A_1A_2, A_2A_3, \dots, A_{n-1}A_n$ をかいてできる図形について考える。このとき、 $w = w^n$ に着目すると $|w| = \text{イ}$ であることがわかる。また、次のことが成り立つ。

- $1 \leq k \leq n-1$ に対して $A_kA_{k+1} = \text{ウ}$ であり、つねに一定である。
- $2 \leq k \leq n-1$ に対して $\angle A_{k+1}A_kA_{k-1} = \text{エ}$ であり、つねに一定である。ただし、 $\angle A_{k+1}A_kA_{k-1}$ は、線分 A_kA_{k+1} を線分 A_kA_{k-1} に重なるまで回転させた角とする。

花子さんは、 $n = 25$ のとき、すなわち、 A_1 と A_{25} が重なるとき、 A_1 から A_{25} までを順に線分で結んでできる図形が、正多角形になる場合を考えた。このような w の値は全部で オ 個である。また、このような正多角形についてどの場合であっても、それぞれの正多角形に内接する円上の点を z とすると、 z はつねに カ を満たす。

ウ の解答群

- ① $|w+1|$ ② $|w-1|$ ③ $|w|+1$ ④ $|w|-1$

エ の解答群

理 科

- 一つの時間帯の中で、最大2科目を受験する形となるが、
選択できる科目の形については従来どおり。
(「基礎」を付した科目は、2つで1科目として扱う)
- 旧教育課程履修者のための経過措置科目は設定しないが、
旧教育課程履修者が選択可能な選択問題を出題する場合がある。

理科の出題形式の変更

令和4年度共通テスト

理科①	物理基礎(50)	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目, 理科②から1科目 D 理科②から2科目
	化学基礎(50)	
	生物基礎(50)	
	地学基礎(50)	
理科②	物理(100)	
	化学(100)	
	生物(100)	
	地学(100)	

理科①と理科②を別々の時間帯で実施

令和7年度共通テスト

理科	『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』 (50×2=100) 4つの内容のうち2つを選択 (2つで1科目として扱う)	最大2科目を受験
	物理(100)	
	化学(100)	
	生物(100)	
	地学(100)	

一つの時間帯で実施

※選択できる科目の組合せや配点は、従来どおり

英語

- 出題形式は「リーディング」形式と「リスニング」形式(原則, 両方を受験)
- 5領域の力を総合的に育成する「英語コミュニケーションⅠ」「Ⅱ」と、発信力の強化をねらいとした「論理・表現Ⅰ」の内容に対応
- 文字と音声の特性を生かして,
「聞く」「読む」「話す」「書く」を統合した言語活動で育てた総合的な英語力を測ることを重視。
- そのための工夫の例として, 試作問題では,
 - 賛否の意見を書くために複数の資料を読んで主張をまとめ論拠を整理する場面,
 - 書いた英文を推敲する場面(以上リーディング),
 - 講義の要点を確認し考えを述べ合う場面(リスニング)を扱った問題の例を紹介。

Author A (Teacher)

My colleagues often question whether smartphones can knowledge and skills. I believe that they can, as long as Smartphones support various activities in class that can include making surveys for projects and sharing one's learning is that we do not have to provide students with devices; they should take full advantage of students' powerful computing

Author B (Psychologist)

It is a widespread opinion that smartphones can encourage students many, though, does not make an opinion correct. A recent study students were allowed to use their smartphones in class concentrate on learning. In fact, even if students were not using their classmates using smartphones was a distraction. It is a classroom a place that is free from the interference of smartphones

Author C (Parent)

I recently bought a smartphone for my son who is a high school school is located far from our town. He usually leaves home contact me or access essential information if he has trouble. I

him
Gene
be av

Author D (High school student)

At school, we are allowed to use our phones to use them because most students have language learning apps on our smartphones interested in learning than I used to be, though, my teacher got mad at me when Occasionally these things happen, but over

Author E (School principal)

Teachers at my school were initially skeptical would use them to socialize with friends educational apps became available, how smartphones utilized as learning aids in the classroom

問3 Now that you understand the various viewpoints, you have taken a position on high school students' use of their smartphones in class, and have written it out as below. Choose the best options to complete [3], [4], and [5].

Your position: High school students should not be allowed to use their smartphones in class.

- Authors [3] and [4] support your position.
- The main argument of the two authors: [5].

Options for [3] and [4] (The order does not matter.)

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

「授業中のスマートフォンの利用の是非」というテーマについて自分の意見を書くため、立場の異なる5人の意見を読んで、論拠を整理する問題。(『英語』第A問(リーディング))

Options for [5]

- ① Making practical rules for smartphone use in class is difficult for school teachers
- ② Smartphones may distract learning because the educational apps are difficult to use
- ③ Smartphones were designed for communication and not for classroom learning
- ④ Students cannot focus on studying as long as they have access to smartphones in class

試作問題『英語』(リーディング)

Many people love fashion. Clothes are important for self-expression, but fashion can be harmful to the environment. In Japan, about 480,000 tons of clothes are said to be thrown away every year. This is equal to about 130 large trucks a day. We need to change our “throw-away” behavior. This essay will highlight three ways to be more sustainable.

First, when shopping, avoid making unplanned purchases. According to a government survey, approximately 64% of shoppers do not think about what is already in their closet. ⁽¹⁾ So, try to plan your choices carefully when you are shopping.

In addition, purchase high-quality clothes which usually last longer. Even though the price might be higher, it is good value when an item can be worn for several years. ⁽²⁾ Cheaper fabrics can lose their color or start to look old quickly, so they need to be thrown away sooner.

Finally, ⁽³⁾ think about your clothes. For example, sell them to used clothing stores. That way other people can enjoy wearing them. You could also donate clothes to a charity for people who need them. Another way is to find a new purpose for them. There are many ways to transform outfits into useful items such as quilts or bags.

In conclusion, it is time for a lifestyle change. From now on, check your closet before you go shopping, ⁽⁴⁾ select better items, and lastly, give your clothes a second life. In this way, we can become more sustainable with fashion.

Overall Comment:

Your essay is getting better. Keep up the good work. (Have I checked mine! ☺)

問 1 Based on comment (1), which is the best sentence to add? 1

- ① As a result, people buy many similar items they do not need.
- ② Because of this, customers cannot enjoy clothes shopping.
- ③ Due to this, shop clerks want to know what customers need.
- ④ In this situation, consumers tend to avoid going shopping.

(1) You are missing something here. Add more information between the two sentences to connect them.

(2) Insert a connecting expression here.

(3) This topic sentence doesn't really match this paragraph. Rewrite it.

問 2 Based on comment (2), which is the best expression to add?

- ① for instance
- ② in contrast
- ③ nevertheless
- ④ therefore

自分の考えを書いた文章について、教師のコメントを踏まえて修正するという場面設定。

読み手に分かりやすいように情報を整理し、文章の論理構成や展開等について考える。

文部科学省「大学入試のあり方に関する検討会議」
提言(R3.7)より
（「英語」関係）

（大学入学共通テストにおける4技能試験の開発可能性，
大学入学共通テスト「英語」のあり方）

- （略） 大学入学共通テスト「英語」の試験形態は，引き続き，マーク式問題及びICプレーヤーを使用して実施する方式とし，出題内容としては「読む」，「聞く」に関する能力を中心としつつ，「話す」，「書く」を含めたコミュニケーション力を支える基盤となる知識等も評価するなど，高等学校までの教育で培った総合的な英語力を可能な限り評価する方向で不断の改善を図っていくことが望ましい。

「外国語」(5領域×3観点)と共通テストの関係イメージ (未定稿)

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
知識・技能	<p>コミュニケーションを支える基盤となる 音声や語彙, 表現, 文法等に関する知識や技能 (単独で問うのではなく, 「読むこと」「聞くこと」の言語活動の中で評価することとしている部分)</p>				
思考力・ 判断力・ 表現力等	<p>コミュニケーションを行う 目的や場面, 状況等に応じて, 情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図など を的確に理解する力 (共通テストの問題作成方針の中で, 従 来, 特に強調している部分)</p>		<p>直接, 話したり書いたりしたものを評価することは できないが, 「聞くこと」「読むこと」の中で, 情報や自分の考えを適切に表現したり伝え合ったり するために, <u>聞いたり読んだりして理解した情報や 考えを整理したり, 何をどのように取り上げるかなど を判断したりする力</u>として評価 (統合的な言語活動を通して培う力として, 共通テストの中で 工夫して評価することが期待されている部分)</p>		
主体的に 学習に取り組 む態度	<p>5領域・3観点の全体については, 各大学が, 各大学の個別試験や, 外部資格・検定試験 の成績の活用, 調査書等により評価する</p>				

情報

大学

文理を問わず、すべての学生が
数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ
大学全学生に対する数理・データサイエンス教育の
標準カリキュラム等の開発・普及など

大学入学共通テスト
『情報Ⅰ』
出題

高等学校

必修科目「情報Ⅰ」の設定

+全ての教科・科目を通して「情報活用能力」を育成

*「言語能力」と並び、すべての学習の基盤となる力と位置づけ

- 『情報Ⅰ』の試作問題では、4つの大問で、学習指導要領において育成することとしている力を、幅広く問う形となるよう作成。(配点は100点)
* 大問4のみ、「参考問題」として、もう一つの問題例を紹介
- 経過措置科目の『旧情報(仮)』は、「社会と情報」及び「情報の科学」の共通問題と、それぞれ固有の内容に対応した選択問題から構成する試作問題を紹介。
- 得点調整は通常、受験者数が1万人未満の科目は対象外となるが、令和7年度の『情報Ⅰ』『旧情報(仮)』は、受験者数が1万人未満となっても、得点調整の対象から除外しない。
- 令和7年度試験の問題作成に向けて、試作問題を基にしつつ、大学生を模擬受験者としたモニター調査を参考としたり、様々な機会を通して高校関係者の意見を伺うなどして、問題の内容、分量、程度等に留意した問題となるようにする。

試作問題『情報Ⅰ』『旧情報(仮)』大問構成

①②③④は、試作問題『情報Ⅰ』と『旧情報(仮)』で共通した問題となっている部分。()内は配点。

『情報Ⅰ』			『旧情報(仮)』			
第1問 (20)	問1	必答	第1問 (35)	A (20)	問1	必答
	問2				問2	
問3	問3					
問4	問4					
第2問 (30)	A (15)	必答	第2問 (15)	B (15)	②	選択
	B (15)			③ (「情報の科学」履修者向け)		
			第3問 (15)	③ (「社会と情報」履修者向け)		必答
			第4問 (25)			
第3問 (25)	④	必答	第5問 (25)	④ (「情報の科学」履修者向け)		選択
第4問 (25)	データ活用		第6問 (25)	(「社会と情報」履修者向け)		

プログラミング

SNSやメール，Webサイトなどの利用時の注意点や情報の信ぴょう性の判断について問う。

『情報 I』『旧情報(仮)』第1問(共通問題)

第1問 (必答問題) 次の問い (A・B) に答えよ。(配点 35)

A 情報及び情報技術に関する次の問い (問1～4) に答えよ。

問1 インターネットを使ったサービス利用に関する次の問い(a・b)に答えよ。

a SNS やメール，Web サイトを利用する際の注意や判断として，適当なものを，次の①～⑤のうちから二つ選べ。ただし，解答の順序は問わない。

ア . イ

- ① 相手からのメッセージにはどんなときでも早く返信しなければいけない。
- ② 信頼関係のある相手と SNS やメールでやり取りする際も，悪意を持った者がなりすましている可能性を頭に入れておくべきである。
- ③ Web ページに匿名で投稿した場合は，本人が特定されることはない。
- ④ SNS の非公開グループでは，どんなグループであっても，個人情報を書き込んでも問題はない。
- ⑤ 一般によく知られているアニメのキャラクターの画像を SNS のプロフィール画像に許可なく掲載することは，著作権の侵害にあたる。
- ⑥ 芸能人は多くの人に知られていることから肖像権の対象外となるため，芸能人の写真を SNS に掲載してもよい。

問4 次の文を読み、空欄 **ケ** ~ **サ** に入れるのに最も適当なものを、後の解答群のうちから一つずつ選べ。ただし、空欄 **コ**・**サ** は解答の順序は問わない。

情報を整理して表現する方法として、アメリカのリチャード・S・ワーマンが提唱する「究極の5つの帽子掛け」というものがある。これによれば、情報は無限に存在するが、次の5つの基準で情報の整理・分類が可能という。

- ・場所・・・物理的な位置を基準にする
例：都道府県の人口、大学のキャンパスマップ
- ・アルファベット・・・言語的な順番を基準にする（日本語なら五十音）
例：辞書、電話帳
- ・時間・・・時刻の前後関係を基準にする
例：歴史年表、スケジュール
- ・カテゴリー・・・物事の差異により区別された領域を基準にする

「情報デザイン」の考え方を問う問題。示された情報(地下鉄の路線図, 旅行会社のWebサイト)がどのような基準に基づいて整理されているかについて考察する。

(『情報I』第1問 問4)



図4 鉄道の路線図

この基礎
れており
の満足度
ると考え

旅行社
社 ホテル・旅館 満足度評価ランキング

シティホテル 温泉がある宿
 隠れ宿 ペットが泊まれる宿

温泉がある宿の満足度評価ランキング1~10位

前へ 次へ

順位	総合評価	ホテル・旅館(宿泊プラン)
1位	★★★★★	長野 △△温泉 ○○○館 1泊2日 ¥19,800
2位	★★★★★	神奈川 ◇◇温泉 ホテル△△△ 1泊2日 ¥25,000
3位	★★★★☆	群馬 ▽▽温泉 湯宿☆☆☆ 1泊2日 ¥19,500
4位	★★★★☆	大分 □□温泉 ◎◎◎館 1泊2日 ¥21,400

- ケ** ~ **サ** の解答群
- ① アルファベット ② 時間
 ③ カテゴリー ④ 階層(連続量)

問2 次の文章の空欄 **オ** ~ **コ** に入れるのに最も適当なものを、後の解答群のうちから一つずつ選べ。

S : まずは、関数「枚数(金額)」のプログラムを作るために、与えられた金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラムを考えてみます。もう少しヒントが欲しいなあ。

T : 金額に対して、高額の硬貨から使うように考えて枚数と残金を計算していくとよいでしょう。また、金額に対して、ある額の硬貨が何枚まで使えて、残金がいくらになるかを計算するには、整数値の商を求める演算『 \div 』とその余りを求める演算『 $\%$ 』が使えるでしょう。例えば、46円に対して10円玉が何枚まで使えるかは **オ** で、その際にいくら残るかは **カ** で求めることができますね。

S : なるほど！あとは自分でできそうです。

Sさんは、先生(T)との会話からヒントを得て、変数 **kingaku** に与えられた目標の金額(100円以下)に対し、その金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラムを考えてみた(図1)。ここでは例として目標の金額を46円としている。

配列 **Kouka** に硬貨の額を低い順に設定している。なお、配列の添字は0から

```
(1) Kouka = [1,5,10,50,100]
(2) kingaku = 46
(3) maisu = 0, nokori = kingaku
(4) i を キ ながら繰り返す:
(5) | maisu = ク + ケ
(6) | nokori = コ
(7) 表示する(maisu)
```

図1 目標の金額ちょうどになる最小の硬貨枚数を計算するプログラム

オ・**カ** の解答群

① $46 \div 10 + 1$	④ $46 \% 10 - 1$
② $46 \div 10$	③ $46 \% 10$

キ の解答群

① 5から1まで1ずつ減らし	④ 4から0まで1ずつ減らし
② 0から4まで1ずつ増やし	③ 1から5まで1ずつ増やし

ケ・**コ** の解答群

② i	③ nokori
-----	----------

ク・**コ** の解答群

① $nokori \div Kouka[i]$	④ $nokori \% Kouka[i]$
② $maisu \div Kouka[i]$	③ $maisu \% Kouka[i]$

代金を支払う際の「上手な払い方」を考えるという問題解決の題材において、アルゴリズムとプログラミングの基本に関する理解を基に、示された要件を踏まえたプログラムを論理的に考察できるかを問う。(『情報I』第3問)

実行してみると **ア** が表示されたので、正しく計算できていることが分かる。いろいろな例で試してみたが、すべて正しく計算できていることを確認で

第4問 次の文章を読み、後の問い（問1～5）に答えよ。（配点 25）

次の表1は、国が実施した生活時間の実態に関する統計調査をもとに、15歳以上19歳以下の若年層について、都道府県別に平日1日の中で各生活行動に費やした時間（分）の平均値を、スマートフォン・パソコンなどの使用時間をもとにグループに分けてまとめたものの一部である。ここでは、1日のスマートフォン・パソコンなどの使用時間が1時間未満の人を表1-A、3時間以上6時間未満の人を表1-Bとしている。

表1-A：スマートフォン・パソコンなどの使用時間が

1時間未満の人の生活行動時間に関する都道府県別平均値

都道府県	睡眠 (分)	身の回りの 用事 (分)	食事 (分)	通学 (分)	学業 (分)	趣味・娯楽 (分)
北海道	439	74	79	60	465	8
青森県	411	74	73	98	480	13
茨城県	407	61	80	79	552	11
栃木県	433	76	113	50	445	57

表1-B：スマートフォン・パソコンなどの使用時間が

3時間以上6時間未満の人の生活行動時間に関する都道府県別平均値

都道府県	睡眠 (分)	身の回りの 用事 (分)	食事 (分)	通学 (分)	学業 (分)	趣味・娯楽 (分)
北海道	436	74	88	63	411	64

生活時間の実態に関する統計調査を基に、データの活用と分析に関する基本的な知識・理解と、データが表すグラフから読み取れることを考察できるかを問う。（『情報I』第4問）

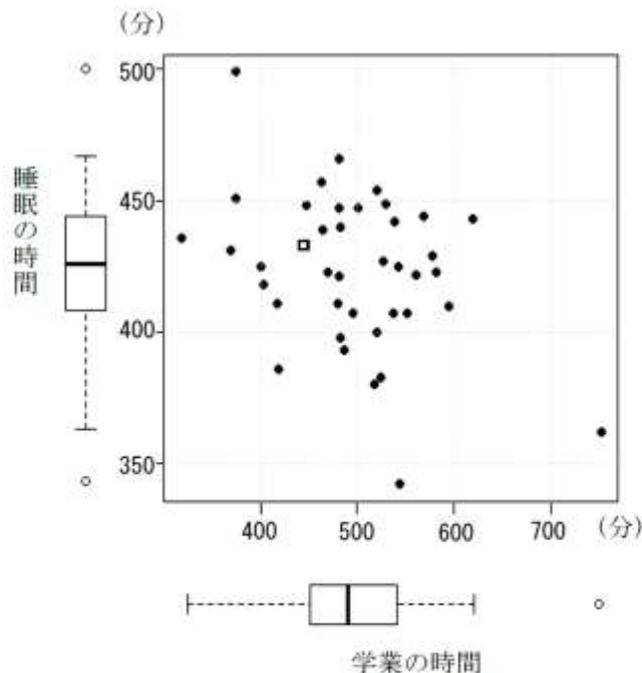


図4 表1-Aの学業の時間と睡眠の時間の散布図

都道府県単位でみたとき、学業の時間と睡眠の時間の間には、全体的には弱い負の相関があることが分かった。この場合の負の相関の解釈として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選べ。なお、ここでは、データの範囲を散らばりの度合いとして考えることとする。

エ

- ① 睡眠の時間の方が、学業の時間より散らばりの度合いが大きいと考えられる。
- ② 睡眠の時間の方が、学業の時間より散らばりの度合いが小さいと考えられる。
- ③ 学業の時間が長い都道府県ほど睡眠の時間が短くなる傾向がみられる。
- ④ 学業の時間が長い都道府県ほど睡眠の時間が長くなる傾向がみられる。

情報機器や情報通信ネットワーク、情報セキュリティに関する知識と関連付けて、実践的な情報通信ネットワークに関わる課題などに対して、適切に判断し考察できるかを問う。(『旧情報(仮)』第4問(必答問題))

旧情報(仮)

ヒカルさんたちの班では、身近なネットワークや情報セキュリティを深めるために、それぞれの家庭でのPCのインターネット接続について図1のように絵を描きながら説明をしている。

ヒカル：私の家では、機器(A)のWANポートと光回線の装置がついていて、機器(A)のLANポートと私のPCがケーブルでつながっているよ。

チヒロ：私の家では、Wi-Fiを使って接続しているよ。機器(A)と光回線の装置がケーブルでつながっていて、LANポートと私のPCが無線でつながっていたよ。

イツキ：私の家に古いPCはあるけど、インターネットの回線が光回線で見るときはスマートフォンを利用して接続しているよ。

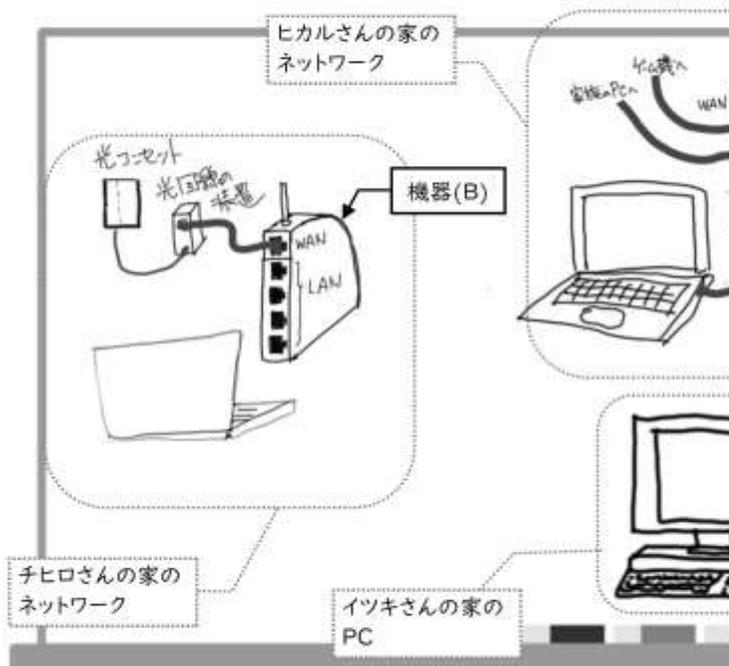


図1 3人が絵を描いたホワイトボード

問4 イツキさんは、チヒロさんやヒカルさんの家のネットワークを参考に、自分の家にもPCをインターネットに接続する環境を導入したいと考えた。以下は、イツキさんが考えたことである。下線部①～③のうち誤っている考えを一つ選べ。 カ

イツキさんの考えたこと

インターネットの回線は、ヒカルさんたちみたいに光回線にしたいな。今度、学校で詳しく聞いてみよう。

あと、毎月、スマートフォンのデータ通信量が契約限度ぎりぎりだから、チヒロさんの家のような環境なら、家では①携帯電話会社の通信量を減らすことができるかな。

これまで家のPCでは、②ファイルのやり取りはUSBフラッシュメモリのみだったから、ウイルス感染の可能性はなかったけれど、インターネットに接続するようになると③ウイルス対策ソフトは必要ね。あれ？そういえば、家のPCは結構古いから、④サポート切れのOSだったら、サポートされているOSにアップグレードするか、PCによっては新しく買い換える必要がありそうね。

(参考) 令和7年度試験の時間割イメージ

理科を一つの試験時間帯、情報を一つの試験時間帯で実施する場合の試験時間割の一つのイメージ。
実際の試験時間割は、現在大学入試センターにおいて検討中。

1日目		2日目	
2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40	理科
13:00～14:30	国語	13:00～14:10	数学①
15:20～16:40	外国語	15:00～16:10	数学②
17:20～18:20	リスニング	17:00～18:00	情報

※受験上の配慮における試験時間延長（1.5倍）の試験終了時刻

1日目：19:50

2日目：19:25

【参考】文部科学省における、高校の情報科指導の支援

施策パッケージ②

情報科 専門性&指導力向上の取組

令和2~3年度 令和4年度 **NOW** 令和5年度

令和2年度 令和3年度 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 **11月** 12月 1月 2月 3月 4月~1学期 夏季休業中 2学期 3学期

情報処理学会 MOOC 教材の無料公開 R2.7~ ※文部科学省作成協力・広報

文科省作成 「情報Ⅰ」_{H31.3}~ 「情報Ⅱ」教員研修用教材 R2.3~

文科省作成 「情報」実践事例集



情報科特設ページ 随時情報更新



高校 情報科 検索

情報処理学会
教員研修

オンデマンド開催

情報処理学会
教員研修 (予定)

※7/31, 8/5, 16, 20 約550名が参加 ※デジタルバッジ付与 ※国の予算補助、都道府県教委に参加を推奨

「情報Ⅰ」授業実践研修 全14回予定

優れた指導力を有する教師等が授業実践事例や、学習内容を解説

※第3回までで、約1250名が参加

アーカイブ配信

「情報Ⅱ」授業実践研修 (予定)

授業力向上

- ・解説動画等の作成
- ・NHK高校講座「情報Ⅰ」(文科省協力)

指導力
授業力UP↑



専門性の向上

- ・研修会開催(情報処理学会と連携)
- ・MOOC等研修公開

学習機会の保障

- ・アーカイブ配信等により、いつでも学習可
- ・繰り返し視聴可

生徒視聴可

情報Ⅰ 解説動画

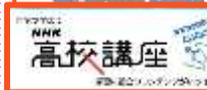
アーカイブ配信



優れた指導力を有する教師が、プログラミング、データサイエンス等を中心に解説。15分程度 20本(予定)

情報Ⅱ 解説動画(予定)

アーカイブ
配信



NHK高校講座「情報Ⅰ」

教科調査官が制作委員として監修。教材不要。受講無料。オンデマンド視聴可

アドバイザー事業



情報科の優れた指導力を有する教師による支援

専門性が高く指導力が高い情報科教師や指導主事等を、国のアドバイザーとして登録。教育委員会からの依頼により、授業等に関する相談や学校指導訪問、研修会講師を実施。(全額国費負担)

※ICT活用教育アドバイザー事業(令和4年度文科省委託事業)

5月 6月 7月 8月 9月 10月 **11月** 12月 1月 2月 3月 4月~1学期 夏季休業中 2学期 3学期

令和7年度試験に向けて

大学入試センターでは

今回公表した試作問題を基に、
大学生を対象としたモニター調査(11月10～12日実施)を行ったり、
様々な機会を通して高校教育関係者の意見を伺うなどして、
問題の内容、分量、程度等に留意した問題となるようにします。

各大学では

大学入学共通テストの利用科目などを、
令和4年度中には公表することとされています。

高等学校関係者にご留意いただきたいこと

(「情報」の経過措置関係)

- 令和7年度試験で経過措置科目を受験する可能性のある生徒に対して、これまで出題されていない『旧情報(仮)』が出題されることを周知頂くこと
- その際、各学校で開講している科目が、「社会と情報」「情報の科学」のどちらであるのかが、生徒にとって明確になるように伝えていただきたいこと
 - * 選択問題は(どの科目を履修していたかにかかわらず)試験時間中に自由に選ぶことが可能です
- 特に、専門学科の科目や学校設定科目(教育課程の特例を含む)によって上記2科目を代替している場合には、それらの科目と「社会と情報」「情報の科学」の内容の対応関係について、十分なお説明を頂きたいこと
 - * 大学入試センターや大学等では、受験者から質問を頂いても回答ができません

4

「得点調整」に関する検討

令和7年度共通テストの得点調整対象科目 (令和3年12月公表)

	現行の 得点調整対象科目	新課程における 得点調整対象科目	経過措置科目における 得点調整対象科目 (令和7年度限り)
地理 歴史	『世界史B』 『日本史B』 『地理B』 3科目	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『歴史総合, 日本史探究』	『旧世界史B』 『旧日本史B』 『旧地理B』 6科目
公民	『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 3科目	『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』 6科目
数学①	(得点調整なし)	『数学 I, 数学A』	『旧数学 I, 旧数学A』
数学②	(得点調整なし)	『数学 II, 数学B, 数学C』	『旧数学 II, 旧数学B』
理科	『物理』『化学』『生物』『地学』	『物理』『化学』『生物』『地学』	
情報	(出題なし)	『情報 I』	『旧情報(仮)』

令和7年度試験の「得点調整」について

- 『情報Ⅰ』と『旧情報(仮)』は、得点調整の対象となります。
- 通常、受験者が1万人未満の場合は、得点調整の対象外となりますが、『情報Ⅰ』『旧情報(仮)』は受験者数に関わらず対象となります。
- 令和7年度試験以降の得点調整の実施条件・方法に関しては、専門家による「得点調整検討部会」により提言がなされ、現在、意見募集を行っています。(～R5.2.8まで)



得点調整検討部会案の説明①

得点調整を行う条件（案）

「平均点差が20点以上となった場合」に加え、
「平均点差が15点以上であり、かつ、段階表示の区分点差が20点以上となった場合」
も得点調整を行う

段階表示(スタナイン)の区分点(各段階の得点範囲の下限値) (例)

	科目B	科目R	区分点差
第9段階(上位4%)	73	96	23
第8段階(11%)	67	90	23
第7段階(23%)	61	83	22
第6段階(40%)	55	74	19
第5段階(60%)	49	63	14
第4段階(77%)	43	53	10
第3段階(89%)	37	43	6
第2段階(96%)	31	32	1
平均点	52.0	67.1	平均点差 15.1

科目Bでは67点を取れば8段階(上位11%)に入るが、科目Rで90点を取らないと同じ段階に入らない
(=科目Rの方が、高得点者が多い)

上位者同士では大きな得点差が生じているが、中～下位では差が小さいので、平均点は15点差程度にとどまっている

※中～下位者同士の間で大きな差が生じることもある

成績の段階表示(スタナイン)：

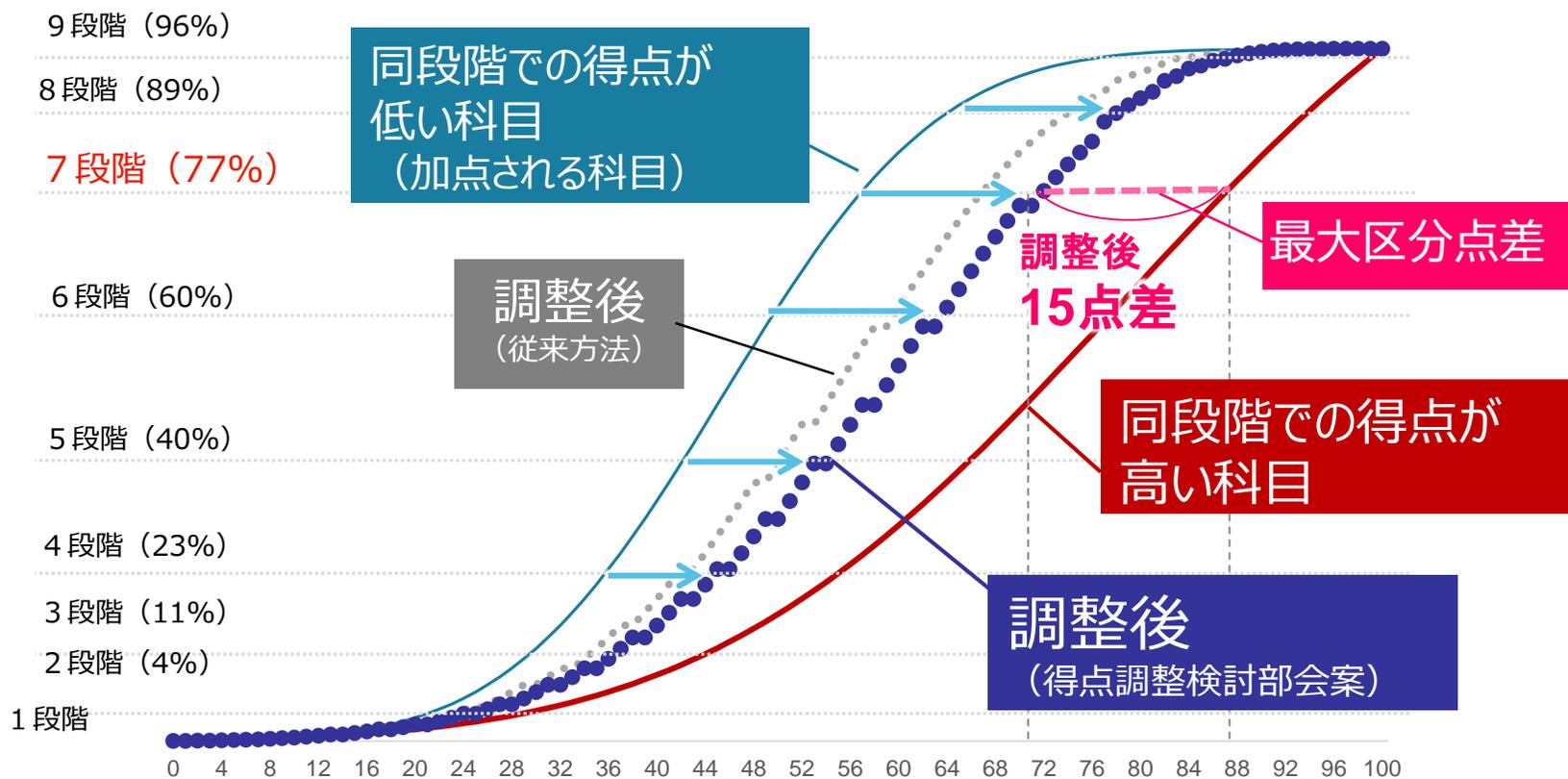
受験者の各科目の成績が、受験者集団の中で、相対的にどのような位置にあるのかを9段階で示す。

得点調整検討部会案の説明②

調整（加点）の方法（案）

対象科目間の区分点差が最大15点になるように、得点を加算する

（従来の方法(平均点差が15点になるように加算)に比べ、加点の量が増える）



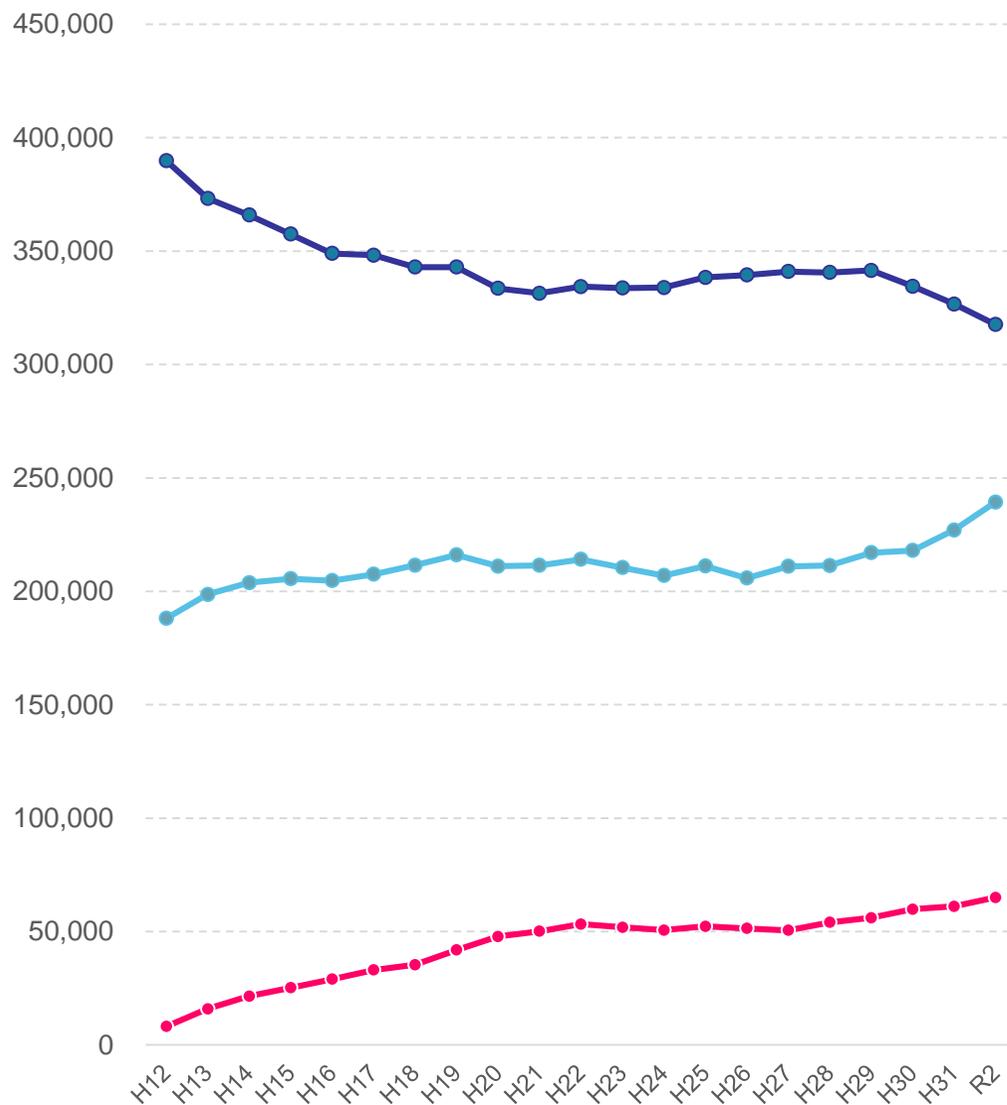
今後のスケジュール

令和4年11月	<ul style="list-style-type: none">・各教科・科目の問題作成の方向性(試作問題を含む)の公表・得点調整の方法に関する検討状況の公表(予定) (随時, ご意見をWeb上の専用フォームで受け付け)・大学生によるモニター調査(英語は12月)
令和4年度中	<ul style="list-style-type: none">・大学入学共通テスト利用教科・科目の予告【各大学が公表】
令和5年6月頃	<ul style="list-style-type: none">・「実施大綱」の公表【文部科学省が公表】 (これまで予告された出題教科・科目等を含む, 試験の実施方針)・「出題教科・科目の出題方法等及び問題作成方針」の公表 (今回示した予告・方向性を踏まえた正式決定)
令和6年6月頃	<ul style="list-style-type: none">・「実施要項」の公表 (出願方法, 時間割など)

5

共通テストと進路指導

入学者選抜の区分別 大学進学者数の推移



一般選抜

調査書の内容, 学力検査, 小論文、志願者本人の記載する資料等により、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する

学校推薦型選抜

出身高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として評価・判定する

総合型選抜

(いわゆるアドミッション・オフィス入試)

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定する

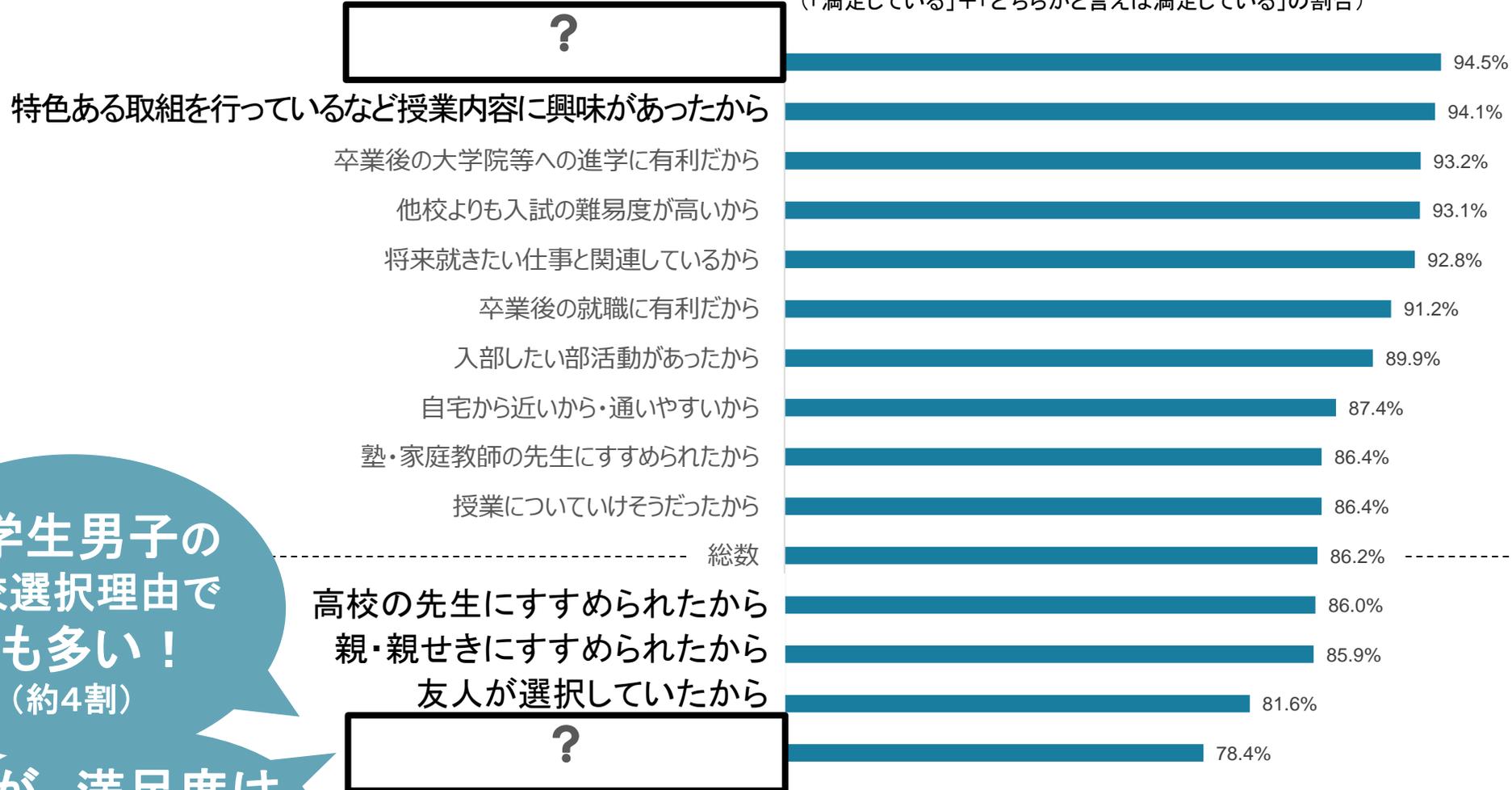
※学校推薦型選抜、総合型選抜においても、小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等、あるいは共通テストの成績を必ず利用する

進学先選択と満足度

学校選択理由

満足度

(「満足している」+「どちらかと言えば満足している」の割合)



大学生男子の
学校選択理由で
最も多い！
(約4割)

が、満足度は
最も低い！

令和7年度
大学入学共通テスト
試験情報ページ

DNC 令和7



https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r7ikou/

ホームページで最新の情報を掲載していきます。

YouTubeで
解説動画を
公表しています。

The screenshot shows a YouTube video player with a video titled '令和7年度共通テスト出題の方向性及び出題傾向の公表に関する説明会'. The video content includes a table of test questions and their subjects. A QR code is overlaid on the bottom right of the video player.

【情報1】		【旧情報(仮)】	
第1問 (20)	国語 ①	第1問 (20)	A 国語 ①
	国語 ②		国語 ②
	国語 ③		国語 ③
	国語 ④		国語 ④
第2問 (30)	A ②	B ②	②
	B ③		
	B ③		
第3問 (25)	④	第2問 (15)	③
第4問 (25)	④	第3問 (15)	④
		第4問 (25)	④
		第5問 (25)	④
		第6問 (25)	④